



## 環境体験学習をしました（3年生）《NO.1》

1月23日（月）に、植物に大変詳しい先生をゲストティーチャーとしてお招きして、3年生が環境体験学習を行いました。



今日は、木の勉強をします。今日は、できるだけたくさんのお木を覚えて、木のなかま分けをしましょう。



1つ目の分け方は、『広葉樹』と『針葉樹』に分けます。広葉樹は広い葉っぱで、針葉樹は針のような葉っぱです。マツは針葉樹です。イチヨウは、どちらにも入りません。



2つ目の分け方は、冬でも葉が緑である『常緑樹』と、色が変わって葉っぱが落ちる『落葉樹』です。イチヨウは、落葉樹です。

3つ目の分け方は、単葉と複葉です。ナンテンの葉は、複葉です。

### 平荘小学校の木を観察しました



クスノキ

クスノキは、兵庫県の県木です。日本の街路樹のベスト3の中に入っています。クスノキは、常緑樹で、広葉樹です。クスノキの葉の汁をにおってみましょう。樟脳（しょうのう）のにおいがします。クスノキは大変強い木です。



4つ目は、葉のつき方で分けます。互生（ごせい）、対生（たいせい）、輪生（りんせい）に分けます。互生は、くきのふしに1枚の葉が互い違いにつくことです。対生は、くきのふしに2枚の葉が向かい合っつくことです。輪生は、くきのふしに3枚以上の葉がつくことです。葉が輪のようについています。

子どもたちは、とても熱心に木の話を聞いていました。木の紹介ごとに、なかま分けを意識していました。



この木は、ケヤキです。ケヤキは落葉樹です。ケヤキは、ほうき（竹ぼうき）を下にしたように見えます。ケヤキは、硬くて元気な木です。40mぐらいの高さまで生長します。ケヤキは、お椀や臼に使われます。家具にも使われています。ケヤキは、関西より関東（東京）の街路樹に多く使われています。



ケヤキ



複葉の代表であるナンテンです。ナンテンは、「難を転ずる（悪いことを無くす）」とも言われ、縁起の良い植物とされています。



ナンテン

イチョウ



イチョウの葉っぱは、アヒルの足に似ています。実は銀杏です。食べられます。雌木にイチョウの実ができます。雄木から花粉が飛んで来て受粉し実ができます。

日本で一番人気があるのがサクラですが、中国で一番人気があるのはイチョウだそうです。

サクラ



このサクラは、ソメイヨシノです。サクラは、日本で一番人気があります。

3年生の子どもたちは、メモを取りながら平荘小学校にあるいろいろな樹木に興味津々でした。よく似た樹木もあり、相違点も考えていました。